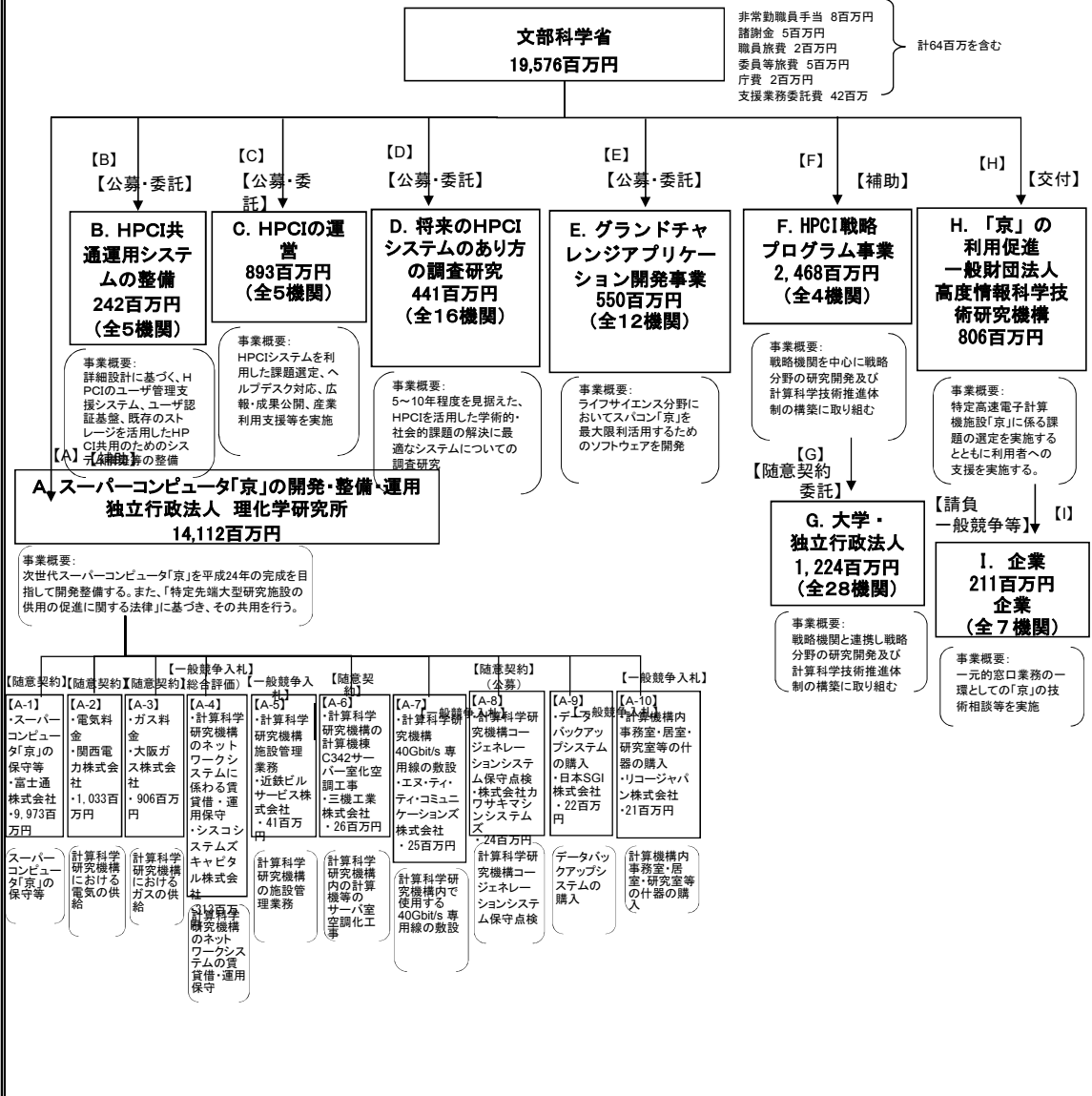


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築		担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度・未定		担当課室	参事官(情報担当)付 計算科学技術推進室	計算科学技術推進室長 川口 悦生		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備 Ⅹ-2 科学技術振興のための基盤の強化			
根拠法令(具体的な条項も記載)	特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律第2条第2項第2号、第5条	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の科学の発展、産業競争力の強化に資するため、イノベーションの創出や国民の安全・安心の確保につながる最先端の研究基盤として、スーパーコンピュータ「京」を中核とした革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)を構築するとともに、この利用を推進し、画期的な成果創出と社会への還元を図る。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	スーパーコンピュータ「京」を中核とした多様な利用者のニーズに応える革新的な計算環境(ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI))を構築するとともに、この利用を推進する。「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律(以下「共用法」という。)」の対象である「京」については、平成24年9月末に共用を開始し、あわせて、「京」と国内の大学等のスパコンを高速ネットワークで結び、データの共有や共同分析などが可能となるHPCIを構築し、同時に共用を開始した。さらに、幅広い分野の研究者等による利用を促進するため、共用法に基づき登録された登録施設利用促進機関が、利用者の公募・選定、利用相談、利用講習会等の利用者促進業務を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	22,779	21,117	19,941	16,416	15,867
		補正予算	18,633	-	8,392	-	-
		繰越し等	▲ 10,434	13,407	▲ 8,392	8,392	-
		計	30,977	34,524	19,941	24,808	15,867
	執行額	30,604	34,377	19,576	-	-	
執行率(%)	98.8%	99.6%	98.2%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	HPCIの活用成果	成果実績		-	-	※「京」及びHPCIは、平成24年9月末に共用開始したため、まだ定量的な成果実績について記載が困難	画期的な成果創出
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	HPCIの中核となるスーパーコンピュータ「京」の開発・整備状況及び年間運転時間	活動実績(当初見込み)	時間	システム製造・搬入開始、施設完成、グランドチャレンジ開発	システム整備、全ラック搬入完了、10ペタフロップス達成、グランドチャレンジ開発、戦略プログラム本格実施	・システム完成、共用開始 ・4,081時間 ※9月28日の共用開始後	(8,000時間)
		HPCIの構築状況	-	基本設計終了、コンソーシアム準備段階の立ち上がり	詳細設計終了、準備段階コンソーシアとして最終報告をとりまとめ	共用開始	-
単位当たりコスト	12.68 (円/ノード・1時間) ※産業利用で成果非公開とする場合の利用料金		算出根拠	単位当たりコスト=8,753百万円※1/365日×24時間×95%※2/82,944ノード※3 (保守時間等を除く年間の資源提供可能な時間を全体の95%※2として、年間の運営費※1を資源提供可能時間及び計算機の計算管理単位(CPU等の一群)であるノード数(「京」全ノード数※3)で割り算定)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	10百万円	15百万円	将来のHPCIのシステムのあり方の調査研究の終了による減 「新しい日本のための優先課題推進枠」584 「新しい日本のための優先課題推進枠」367 ※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げ額と合計は一致しない。			
	諸謝金	4百万円	5百万円				
	職員旅費	2百万円	3百万円				
	委員等旅費	5百万円	5百万円				
	庁費	3百万円	3百万円				
	科学技術試験研究委託費	2,334百万円	1,526百万円				
	特定先端大型研究施設運営費等補助金	10,587百万円	10,721百万円				
	高性能汎用計算機高度利用事業費補助金	2,572百万円	2,576百万円				
	特定先端大型研究施設利用促進交付金	897百万円	897百万円				
計	16,416百万円	15,750百万円					

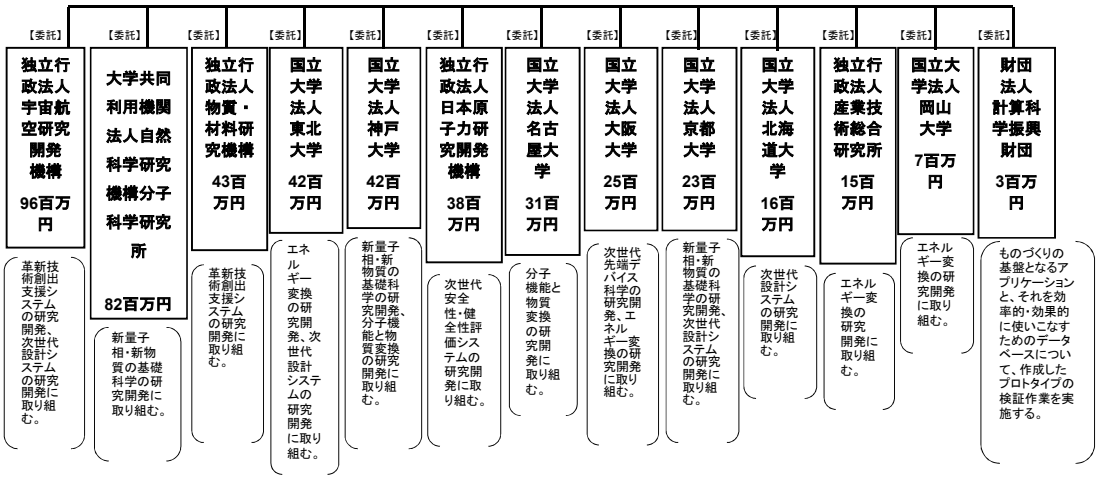
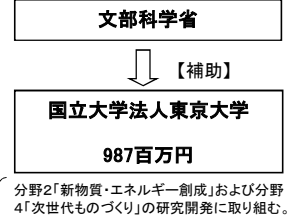
事業所管部局による点検							
		項目	評価	評価に関する説明			
必要投入の	国費	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	当事業は、第4期科学技術基本計画の「国家安全保障・基幹技術の強化」において「世界最高水準のハイパフォーマンスコンピューティング技術」としてその必要性が明記されるなど、我が国の国際的な優位性を保持し、安全な国民生活を実現するため、国として国家存立の基盤に関わる研究開発と位置づけて強力に推進すべき政策の優先度が極めて高い事業である。			
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	事業	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	理化学研究所から委託・請負契約にて支出する業務において、大部分は一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。 また、随意契約の締結については、契約審査委員会(監査・コンプライアンス室長等の職員で構成)に諮り、その理由や相手先について、その妥当性の審査を適切に行っている。随意契約締結後には、全ての随意契約実績を理研のホームページ上で公表するとともに、外部有識者を含む契約監視委員会による点検を実施し、契約の妥当性についてチェックする体制を整えている。総合的にみて、効果的・効率的かつ適切なものとなっている。 経費の執行については、事業年度毎に実績報告書等において、支出先・用途の把握、経費の使用状況等の確認に努めている。 なお、「京」の利用について、産業利用で成果非公開とする場合は適切な受益者負担の観点から有償としている。			
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
		単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性	事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	研究者等による最先端大型研究施設の共用を促進すべく、共用法に基づき、施設設置者・登録施設利用促進機関を対象とした補助事業として実施しており、実効性の高い事業となっている。 また、活動としては、予定どおりシステム整備等を進め、共用を開始した。 さらに、「京」の利用については、共用法に基づき、登録施設利用促進機関が公募情報等をホームページに掲載するなど十分な広報を行うとともに、利用相談・利用講習会等の利用促進業務を実施し、幅広い分野のユーザによる画期的な研究成果の創出に向けた利用が図られている。			
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	事業	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
		事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
点検結果		「京」の開発・整備については、順調に進捗し、平成24年6月にシステム完成、同年9月末に共用を開始した。また、「京」を中核とし、多様なユーザーニーズに応える革新的な計算環境であるHPCIを構築し、同時に共用を開始するとともに、その利用体制の整備を図っている。今後とも、共用を開始した「京」及びHPCIの効率的かつ適切な運用に継続的に取り組むことが必要である。さらに、科学的・社会的課題の解決につながる画期的な成果の創出に向け、更なる利用促進に努める。					
外部有識者の所見							
<p>本事業は、共用法に基づくスーパーコンピュータ「京」の整備・共用を行い、「京」を中核とした革新的な計算環境であるHPCIを構築するとともに、その利用体制の整備を図る事業であり、平成24年9月末に共用を開始した。今後、産学官の幅広い分野における研究開発の推進により、画期的な成果創出が期待されることである。</p> <p>引き続き「京」及びHPCIの効率的かつ適切な運用に取り組むべきであるが、より効果の高い事業とするため、特に、産業界をはじめとする幅広い分野のユーザの利用を促進する方策を一層工夫するとともに、「京」及びHPCIにより創出される成果等の情報発信の強化を図り、成果等の社会還元にも努めるべきである。</p>							
行政事業レビュー推進チームの所見							
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、計算科学技術をはじめとする科学技術活動全般を支える先端的な基盤を整備する長期継続事業であり、その大半が独立行政法人向けの支出及び公募型事業である。</p> <p>2. 所見：本事業は長期継続事業であり、平成21年11月の事業仕分け及び平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成24年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、衆議院・決算行政監視委員会の行政監視に関する小委員会による国会仕分けで決議された内容を踏まえ、事業内容の再点検を行い、産業界をはじめとする幅広い分野のユーザの利用を促進する方策を一層工夫するとともに、「京」及びHPCIにより創出される成果等の情報発信の強化を図り、成果等の社会還元にも努めるべきである。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
縮減	<p>平成24年9月末の共用開始以降の「京」の運転の定常化による実績を踏まえ、コジェネレーションによるガス使用量の見積りについて見直しを行うことにより概算要求に▲10百万円反映した。</p> <p>また、引き続き「京」を含む施設全体の運営の効率化を図るとともに、産学官の広範な分野の研究者等への共用を図る。特に、産業界をはじめとする利用促進については、ユーザのニーズ等を踏まえつつ、利用環境の整備、情報提供、きめ細やかな技術相談の実施等利用支援を一層強化し、産業利用の利便性向上に努めるとともに、産業利用枠の拡大等も含めたユーザのニーズにあわせた利用枠の検討を行う。</p> <p>さらに、科学的・社会的課題の解決に資する画期的な成果等をシンポジウムなどで積極的に情報発信し、成果等の社会還元にも努める。</p>						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	0247	平成23年	0237	平成24年	0253	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

〔F〕の国立大学法人東京大学のケース



A. 独立行政法人 理化学研究所			A-4. シスコシステムズキャピタル株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
特定先端大型研究施設運営費等補助金	超高速電子計算機の開発及び特定高速計算機施設の運営	14,112	賃貸借	計算科学研究機構のネットワークシステムに係わる賃貸借・運用保守	313
計		14,112	計		313
A-1. 富士通株式会社			A-5. 近鉄ビルサービス株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	スーパーコンピュータ「京」の保守等	9,973	役務	計算科学研究機構施設管理業務	41
計		9,973	計		41
A-2. 関西電力株式会社			A-6. 三機工業株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	電気料金	1,033	工事	計算科学研究機構の計算機棟C342サーバー室化空調工事	26
計		1,033	計		26
A-3. 大阪ガス株式会社			A-7. エス・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	ガス料金	906	工事	計算科学研究機構40Gbit/s 専用線の敷設	25
計		906	計		25

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A-8. 株式会社カワサキマシンシステムズ			C. 国立大学法人 東京大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	計算科学研究機構コージェネレーションシステム保守点検	24	雑役務費	共用ストレージ保守等	262
			光熱水量		55
			人件費	研究者	29
			旅費	国内旅費、外国旅費	3
			設備備品費	ネットワーク関連機器	2
			その他	印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、消費税相当額、一般管理費	41
計		24	計		392
A-9. 日本SGI株式会社			D. 日本電気株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	データバックアップシステムの購入	22	電子計算機諸費	プログラム作成	39
			人件費	研究者	21
			旅費	国内旅費、外国旅費、外国人等招聘旅費	13
			その他	雑役務費、借損料等	11
計		22	計		84
A-10. リコージャパン株式会社			E. 独立行政法人 理化学研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	計算機構内事務室・居室・研究室等の什器の購入	21	電子計算機諸費	プログラム高度化、ハードウェア保守等	108
			人件費	研究者	96
			雑役務費	シンポジウム開催、学会参加費等	43
			一般管理費		30
			旅費	国内旅費、外国旅費、外国人等招聘旅費	21
			諸謝金	非常勤チームリーダー謝金、招待講演謝金等	13
			消費税相当額		6
			その他	消耗品費、印刷製本費、設備備品費等	17
計		21	計		333
B. 国立大学法人 筑波大学			F. 国立大学法人 東京大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	サーバ機能の高度化、安定化等	66	委託費	研究開発委託	461
その他	国内旅費、一般管理費等	8	電子計算機諸費	基盤センター借用	223
			人件費	研究者	155
			旅費	国内旅費、外国旅費、外国人等招聘旅費	61
			設備備品費	研究用サーバ、研究成果普及用サーバ等	27
			雑役務費	ホームページ作成、ソフトウェア高度化	17
			消耗品費	パソコン周辺機器、記憶媒体等	8
			その他	印刷製本費、会議開催費、諸謝金、通信運搬費	36
計		74	計		987

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	G. 国立大学法人 東京大学			I. 富士通株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	研究者	126	役員費	一元的窓口業務の一環としての「京」の技術相談	180
	旅費	国内旅費、外国旅費、外国人等招聘旅費	35			
	設備備品費	研究用サーバ、研究成果普及用サーバ等	23			
	一般管理費	管理・運用	20			
	雑役務費	ホームページ作成、ソフトウェア高度化	17			
	電子計算機諸費	電子計算機使用量	15			
	その他	印刷製本費、諸謝金、会議開催、消費税相当額	19			
	計		256	計		180
	H. 一般財団法人高度情報科学技術研究機構					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	特定高速電子計算機施設(「京」)の利用促進	806			
	計		806	計		0

支出先上位10者リスト

A. スーパーコンピュータ「京」の開発・整備・運用

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通株式会社	スーパーコンピュータ「京」の保守等	9,973	随意契約	-
2	関西電力株式会社	計算科学研究機構における電気の供給	1,033	随意契約	-
3	大阪ガス株式会社	計算科学研究機構におけるガスの供給	906	随意契約	-
4	システムズキャピタル株式会社	計算科学研究機構のネットワークシステムの賃貸借・運用保守	313	3	(※)
5	近鉄ビルサービス株式会社	計算科学研究機構の施設管理業務	41	2	(※)
6	三機工業株式会社	計算科学研究機構内の計算機棟のサーバー室化空調工事	26	随意契約	-
7	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	計算科学研究機構内で使用する40Gbit/s 専用線の敷設	25	3	(※)
8	株式会社カワサキマシンシステムズ	計算科学研究機構コージェネレーションシステム保守点検	24	随意契約	-
9	日本SGI株式会社	データバックアップシステムの購入	22	1	(※)
10	リコージャパン株式会社	計算機構内事務室・居室・研究室等の什器の購入	21	3	(※)

※ 同種の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため非公表。

B. HPCI共通運用システムの整備

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人筑波大学	共用ストレージソフトウェア整備	74	企画競争	-
2	国立大学法人大阪大学	運用ツール群整備	68	企画競争	-
3	国立大学法人東京工業大学	先端ソフトウェア運用基盤整備	50	企画競争	-
4	国立大学法人東京大学	利用者支援システムの整備、全体とりまとめ	35	企画競争	-
5	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	認証基盤整備	16	企画競争	-

C. HPCIの運営

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	HPCI共用ストレージ等の運用・保守	392	企画競争	-
2	一般財団法人高度情報科学技術研究機構	課題選定及び共通窓口運用、産業利用促進	295	企画競争	-
3	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	認証局の運用	106	企画競争	-
4	財団法人計算科学振興財団	産業利用促進	56	企画競争	-
5	独立行政法人理化学研究所	HPCIの運営企画・調整	43	企画競争	-

D. 将来HPCIシステムのあり方の調査研究

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株式会社	システム設計分野での調査研究	84	企画競争	-
2	国立大学法人東京大学	システム設計分野での調査研究	66	企画競争	-
3	国立大学法人東北大学	システム設計分野での調査研究	63	企画競争	-
4	国立大学法人東京工業大学	システム設計分野、アプリ分野での調査研究	46	企画競争	-
5	株式会社日立製作所	システム設計分野での調査研究	45	企画競争	-
6	富士通株式会社	システム設計分野での調査研究	43	企画競争	-
7	理化学研究所	システム設計分野、アプリ分野での調査研究	37	企画競争	-
8	国立大学法人筑波大学	システム設計分野での調査研究	35	企画競争	-
9	国立大学法人九州大学	システム設計分野での調査研究	10	企画競争	-
10	公立大学法人 会津大学	システム設計分野での調査研究	7	企画競争	-

E. グランドチャレンジアプリケーション

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人理化学研究所	ライフプロジェクトの総合的推進および分子・細胞・臓器全身スケール、データ解析融合・脳神経系に関する研究開発を実施するとともに、シミュレーションの高度化技術開発および支援を実施する。	333	企画競争(※)	—
2	国立大学法人東京大学	次世代治療に向けたシミュレーションの研究開発、大規模遺伝子ネットワーク推定とその応用についての研究開発を実施する。	97	企画競争(※)	—
3	国立大学法人京都大学	神経細胞構造可塑性シミュレーションおよび視覚野受動野形成シミュレーションの研究開発を実施する。	41	企画競争(※)	—
4	学校法人慶應義塾大学	肝細胞シミュレータの研究開発、肝小葉シミュレータの研究開発と病態予測解析への応用、細胞シミュレーションプラットフォームの研究開発を実施する。	17	企画競争(※)	—
5	国立大学法人大阪大学	生体高分子生化学的機能解析のための分子計算技術の研究開発を実施する。	17	企画競争(※)	—
6	学校法人東海大学	細胞シミュレーションプラットフォームを血管止血の主要細胞である血小板に適用することによる総合的な血栓止血シミュレータ基盤モデルの研究開発を実施する。	13	企画競争(※)	—
7	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所	生命体シミュレーションのためのデータ同化技術の研究開発を実施する。	13	企画競争(※)	—
8	国立大学法人東京工業大学	タンパク質間相互作用ネットワークの推定とその応用に関する研究開発を実施する。	9	企画競争(※)	—
9	公立大学法人横浜市立大学	タンパク質の機能発現過程の分子動力学計算法の研究開発を実施する。	5	企画競争(※)	—
10	国立大学法人神戸大学	インスリン分泌シミュレータの研究開発を実施する。	2	企画競争(※)	—
11	国立大学法人千葉大学	システム循環統合シミュレーションの研究開発を実施する。	2	企画競争(※)	—
12	学校法人立命館	臓器モデルのための包括的心筋細胞モデルの研究開発を実施する。	1	企画競争(※)	—

※ 平成18年度に企画競争を実施。

F. 戦略プログラム(補助)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	分野2「新物質・エネルギー創成」および分野4「次世代ものづくり」の研究開発に取り組む。	987	—	—
2	独立行政法人海洋研究開発機構	分野3「防災・減災に資する地球変動予測」の研究開発に取り組む。	494	—	—
3	国立大学法人筑波大学	分野5「物質と宇宙の起源と構造」の研究開発に取り組む。	494	—	—
4	独立行政法人理化学研究所	分野1「予測する生命科学・医療および創薬基盤」の研究開発に取り組む。	494	—	—

※補助事業

G. 戦略プログラム(委託)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	防災・減災に資する気象・気候・環境予測研究、地震・津波の予測精度の高度化に関する研究、細胞内分子ダイナミクスシミュレーションの研究開発、創薬応用シミュレーションの研究開発、予測医療に向けた階層統合シミュレーションの研究開発、大規模生命データ解析の研究開発、格子QCDによる物理点でのバリオン間相互作用の決定の研究開発、大規模量子多体計算による核物性解明とその応用の研究開発に取り組む。	256	随意契約	—
2	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	革新技術創出支援システムの研究開発、次世代設計システムの研究開発に取り組む。	96	随意契約	—
3	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	物質と宇宙の起源と構造に関する計算科学技術推進体制の構築に取り組む。	87	随意契約	—
4	国立大学法人京都大学	新量子相・新物質の基礎科学の研究開発、次世代設計システムの研究開発、防災・減災に資する気象・気候・環境予測研究、超新星爆発およびブラックホール誕生過程の解明の研究開発に取り組む。	85	随意契約	—
5	国立大学法人東京工業大学	大規模生命データ解析の研究開発、ダークマターの密度ゆらぎから生まれる第1世代天体形成の研究開発に取り組む。	85	随意契約	—
6	大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所	新量子相・新物質の基礎科学の研究開発に取り組む。	82	随意契約	—
7	国立大学法人大阪大学	次世代先端デバイス科学の研究開発、エネルギー変換の研究開発、予測医療に向けた階層統合シミュレーションの研究開発、大規模生命データ解析の研究開発、物質と宇宙の起源と構造に関する萌芽的プロジェクト研究に取り組む。	70	随意契約	—
8	国立大学法人東北大学	エネルギー変換の研究開発、次世代設計システムの研究開発、防災・減災に資する気象・気候・環境予測研究、地震・津波の予測精度の高度化に関する研究に取り組む。	69	随意契約	—
9	独立行政法人日本原子力研究開発機構	次世代安全性・健全性評価システムの研究開発、細胞内分子ダイナミクスシミュレーションの研究開発に取り組む。	53	随意契約	—
10	独立行政法人産業技術総合研究所	エネルギー変換の研究開発、大規模生命データ解析の研究開発に取り組む。	47	随意契約	—

H. 「京」の利用促進

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人高度情報科学技術研究機構	特定高速電子計算機施設「京」の利用促進業務	806	—	—

※特定先端大型研究施設利用促進交付金事業

1. 「京」の利用促進(業務請負等)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通株式会社	一元窓口業務の一環としての「京」の技術相談	180	1	91%
2	富士通株式会社	登録施設利用促進機関向け「京」講習会実施業務	10	1	77%
3	富士通エフ・オー・エム株式会社	webコンテンツ管理ツール適用によるポータルサイト再構築業務	7	2	98%
4	株式会社トータル・サポート・システム	複合機の保守管理	4	随意契約	-
5	株式会社サンビプロダクトセンター	特定高速電子計算機施設の利用研究課題選定におけるピア・レビューシステム開発	4	2	89%
6	日本電気株式会社	申請支援システム及び認証認可基盤等のシステムサポート	2	随意契約	-
7	株式会社ムラヤマ	展示会出展ブースの設営・装飾業務	2	3	79%
8	富士通株式会社	利用者向け講習会実施支援業務	1	随意契約	-
9	大和建物サービス株式会社	神戸キメックセンター内居室の清掃業務請負	1	随意契約	-